

公表 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

| 事業所名 | | 公表日 | | | |
|--|---|-----------------|--|--|----------------------------|
| こぼんはうすさくら 岡崎井田教室 | | 令和 7 年 6 月 30 日 | | | |
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 2 | 3 | | |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 3 | 2 | 準備をする際には、視覚的にわかりやすいように絵や文字を使った支援をおこなっている。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 4 | 1 | 毎日清掃を行い、清潔な空間作りをおこなっている | |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 3 | 2 | 基本的に、集団指導になるが、必要に応じて、個室を利用することができる環境である。 | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 2 | 3 | 必要に応じて、職員間で話し合う時間を設けている。 | 話あった結果を実践し、見直す体制を構築していく。 |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | | 5 | 開所2か月の為、まだ取り組めていないが、今回の保護者向け評価結果を真摯に受け止めながら業務改善に繋げていく。 | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | 風通しの良い、教室で職員が意見を言いやすい環境である。 | 意見の内容を精査しながら業務改善をおこなってきたい。 |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 1 | 4 | | 第三者評価をおこなう機会を設けていない。 |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 2 | 3 | | 今度、可能な限り参加してきたい。 |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 5 | | ホームページで公表している。 | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 5 | | 丁寧にアセスメントしてして計画を作成している。 | |
| | 13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 3 | 2 | 現場の支援者からの意見も確認して計画を作成している。 | |
| | 14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 5 | | | |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 5 | | | |
| | 16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4 | 1 | | |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 5 | | 各有資格者間で、活動プログラムを立案している。 | |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | | 季節に応じた、活動プログラムを計画している。 | |
| 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 4 | 1 | 基本的に、集団指導になるが、必要に応じて、個室を利用することができる環境である。 | | |
| 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | 1 | 短時間に、集中してその日に行う支援内容を確認しあっている。 | | |

| | | | | | | |
|--------------|---------------------|--|---|--------------------------------------|--|-----------------------------------|
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 4 | 1 | 日々の記録はHUGシステムを使用して記録を残している。 | |
| | 23 | 定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 4 | 1 | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。 | 5 | | | |
| | 25 | 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 2 | 3 | 活動の中では、選択肢を与えて自己決定をおこなっているが、親の意見を重視している。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 2 | 3 | | 現状まだ、サービス担当者会議や関係機関との会議は開催されていない。 |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 5 | | | 児発管を中心に、関係機関との連携をしていく。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 5 | | 施設利用時に、学校側との連絡調整をおこなっている。必要に応じて、電話を入れて、情報共有をおこなっている。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 2 | 3 | | まだ、開所して2か月なので、今後情報共有していく。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 1 | 4 | 開所して間もないため、対象となる子供がいない。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 1 | 4 | | 必要に応じて、機会を設けていく。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | 5 | | 長期休暇等に、児童館に外出したりする機会があればおこなっていく。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | | 5 | | 開催されれば積極的に出席していく。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | | LINEを活用して、お子さまの状況を確認している。必要に応じて送迎時にフィードバックしている。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 1 | 4 | お子さまの困りごとなどに対して、どのように対応するとよいかを助言等している。 | |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | | 契約時に丁寧に説明をおこなっている。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | | アセスメント作成時、保護者からの意向を確認している。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 5 | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | | LINE経由に相談があるときがあったため、適切に助言をおこなった。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | | 5 | | 利用者が増えてきたら、開催を検討する。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 3 | 2 | 苦情対応窓口の設置をして、苦情になる前に対応をしている。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | | LITALICO発達ナビや、Instagramを活用して、施設情報を発信している。 | |
| 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | | 鍵付き書庫に記録物を保管し、PCはパスワードを入力してから使用している。 | | |

| | | | | | | |
|---------|--|---|---|--------------------------|---------------------------------|---|
| 非常時等の対応 | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 5 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 2 | | |
| | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 2 | 3 | まだ、実施していない。今後活動でおこなう。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | 1 | 毎月、避難訓練を行っている。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 5 | | アセスメント作成時、保護者から確認している。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 2 | 3 | 医師との関わりはないが、保護者から薬剤情報提供をもらっている。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 3 | 2 | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 2 | 3 | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 2 | 3 | | ヒヤリハットの様式は用意してあるが、活用まではされていない。事例が多ければ多いほど良いことを周知していく。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 3 | 2 | 適宜、虐待防止の研修動画を見て対応をしている。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 5 | | 計画書の中に、記載がしており、説明がされている。 | | |